

AQUAチャレンジカップ OFA第48回大阪府サッカー選手権大会(U-12)大会規定

1.大会名	AQUAチャレンジカップ OFA第48回大阪府サッカー選手権大会(U-12)
2.主催	一般社団法人 大阪府サッカー協会
3.主管	一般社団法人 大阪府サッカー協会 第4種委員会
4.後援	
5.特別協賛	アクア株式会社
6.協力	
7.参加費	5000円×エントリーチーム数(上限3チームエントリーまでとする)(当協会の主催する競技会への参加費は不課税取引として取扱いとなる)
8.中央大会参加費	1チームにつき5,000円を中央大会初日に徴収する。
9.エントリー	エントリー方法(別紙参照 HP記載) エントリーサイトの入力と大会参加費の振り込みを締切までに行うこと。
10.抽選	本部抽選とする
11.競技規則	(公財)日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」最新版に準じ、これ以外の部分は、(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」に準ずる。
12.競技人数	8人
13.会場	大阪府下全域
14.開催期間	5/12(日) 5/19(日) 5/26(日) 6/2(日) 6/9(日) 6/16(日) 6/23(日) 6/30(日) 7/7(日) 中央大会日程7/13(土)32→16 7/14(日)16→4 7/15(祝)4→1 上記日程を基本としているが、雨天延期や会場提供日の偏りなど考慮して土曜日に試合を組む場合もある。
15.バス日	5/26(日)から6/23(日)までの日程で1回バス日を設定できる(バス日の連絡はエントリーの際に行う)5/12、5/19と7月以降はバスできない。 また、バス申請日でも最終試合に試合を組む場合がある。 複数エントリーチームのバス日は1st2nd共通とする。(1st〇日 2nd△日というバス日の申請はできない)
16.競技方法	大阪府下全域でオープン抽選によるトーナメント方式
17.競技時間	試合時間は40分(20分→5分→20分) 同点の場合は3人制のPK戦を実施。両チームの得点が同じ場合は、同数のキックで一方のチームが他方より多く得点するまで、順序を変えることなく交互にキックは続けるものとする。 準決勝、決勝、3位決定戦の4試合に限り5分ハーフの延長を実施する。それでも決着がつかない場合はPK戦とする。
18.参加資格	6年生以下の選手。複数エントリーチームの選手入替は不可とする。
19.コートサイズ	68m×50mを推奨する。ゴールの大きさは5m×2.15m(少年用サッカーゴール)とする。
20.試合の成立	試合開始時に6名以上とし、一方のチームが6人に満たない場合は試合を開始しない。ただし、試合中の負傷等による競技者が6人未満にならない限り試合は続行する。
21.棄権(書類不備も含む)	「選手証」「メンバー表」「申し送り」3種類の書類不備や棄権が生じた際のスコアは0-99とする。 審判不履行などの大会運営に重大な支障をきたしてしまった場合、その指導者のチームの試合を不戦敗(0-99)とする。
22.大会期間中の移籍	移籍元のチームにおいて本大会に出場した者に関しては移籍先のチームにおいてその出場を認めない。 他府県からの移籍については関西大会予選を他府県の移籍元のチームで出場している場合はその出場を認めない。
23.各大会への出場権	大阪府大会上位4チームは『KSFSA第48回U-12サッカー大会(関西大会)』(2024年9月7日・8日)に出場する義務を負う。 関西大会出場権を獲得したチームは必ず大阪府大会メンバー(ベストメンバー)で出場する事。 関西大会の辞退は認められない。(他の大会、自チーム行事、遠征等が関西大会と重複した場合は必ず関西大会を優先する事) 関西大会出場に関し何等かの問題を生じたチームにはJFA諸規定に準じてOFA司法機関で最も重い懲罰を科す事とする。懲罰を科されたチームはその懲罰を遵守する義務を有する。
24.メンバーチェック	自チームの試合前の後半開始5分までに対戦相手同士による【選手証】【メンバー表】【申し送り】【ユニホーム】のチェックを行う。【選手証】とは電子登録証のカラーコピーであり、携帯電話などの画面での確認は不可とする。選手証、メンバー表と当日の選手の並びは全て同じになるように揃えておくこと。 審判割り当てが自チームの試合の前試合の場合で、相互チェックが難しい場合のみ本部で行う。当日事前に本部に連絡すること。 申し送り用事項へのサインは本部がするため、相互チェック終了後の書類は本部に提出すること。 ユニホームに広告がある場合はJFAからの「回答書」を持参しておくこと。ユニホームのチェックは両チームが同色にならないようにする。(ユニホーム欄参照)
25.審判	①1人制で行う(主審・補助審判ともに3級ライセンス以上の資格者が行うこと) ②主審・補助審判は、試合開始前にお互いが打ち合わせ等の準備に努める。事前に割り当てられた審判を不履行の場合、OFA司法機関(規律委員会等)にて懲罰を決定する。 ③補助審判を割り当てられた審判員は、試合記録報告書の記載のほか、スローインやオフサイドなど主審に協力して試合を運営するが決定権は主審にあり、補助審判に決定権はない。 ④新規及び昇級等で審判証が手元にない場合は、審判委員会の押印のある合格(証)通知と顔写真付きの本人確認できるものを提示する義務を負う。 ⑤3級審判が出せなかったなどの審判不履行の場合不履行をしたチームの懲罰(不戦敗)をOFA司法機関(規律委員会等)にて決定する。 ⑥協会派遣の場合、及びアクティブ登録を行い指導を受けた審判員の主審を認める。通常のユース審判員の中央大会までの補助審判を認める。 ⑦審判服は全て正規のものを着用し、アンダーシャツ・アンダーショーツは同色のみ認める。 ⑧審判員の提示及び所定の位置にワッペンを貼付を義務とする。(カラー電子登録証)携帯電話などの画面での確認を認める。
26.選手交代	ベンチ入りメンバーは指導者3名と登録選手のうち16名のみとし、交代の人数制限はなしとする。 ベンチ入りメンバーの中で人数制限なく自由な交代ができる(主審の許可を得ず交代ゾーンから行う) GKが交代する場合は主審の許可を得る。交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点から競技のフィールドの外に出る。代わりに入るゴールキーパーは交代ゾーンからフィールドに入る。
27.警告・退場	大会期間中、警告の累積が2回になった選手・指導者は次の1試合に参加できない。 退場を命ぜられた選手・指導者は最低でも次の1試合に参加できない。またその処分は規律委員会にて決定する。 また、試合中に負傷退場した場合、主審は別の選手を補充して8人にしてから試合再開しなければならない。(ただし、登録選手が8人の場合を除く) 地区大会での退場は中央大会に持ち越さないが、悪質な反則による退場に関してはその限りではない。(1発レッドカード)
28.ユニフォーム	①FP・GK(シャツ・ショーツ・ソックス)はそれぞれ別色の正副の2着を用意する。(ユニフォーム規定参照) ②ユニホームとはFPで番号以外は全く同じもの、GKで番号以外は全く同じものこととする。(ただし、メーカーロゴの変更や移動のみの場合はその限りではない) ③両チーム同色や区別がつきにくい場合は大会本部にて事前に両チーム立会いのもとユニフォーム各2組から、判別しやすい組合せを決めておき主審の確認を持って決定とする。 ④カーフソックスを使用する場合は下にはソックスはカーフソックスと同色のものとする ⑤ベンチ選手、指導者はユニホームと同色のウェアは着用できない(ビブスや別色のウェアで対応すること) ⑥GKがFPとして出場する場合、または逆の場合において、他選手と重複しない固有番号であれば、正副の番号は一致しなくても出場を可とする。 ただし、事前にメンバー表にそれぞれの背番号を記載しておくこと。 ⑦FP、GK共に足首に着用するアングルガード、テーピング等をソックスの上に着用する場合は着用するソックスの部分と同色のみ認める ⑧FPの着用する手足の関節(局部)などを保護するために当てるゴムを織り込んだ布製の色帯(サポーター)とGKの着用するエルボーパット、ニーパッドはユニホームとは別とする。 ユニホームと別色でも可とする。 ⑨GK及びFPのビブス着用での試合出場は認めない。
29.アンダーシャツ	シャツの袖の下から見える場合袖の主たる色または裾と同色であること、また袖の主たる色と裾の色が別色の場合チームでどちらかを選び統一していることとする。
30.アンダーショーツ	ショーツ下から見える場合ショーツの主たる色または裾と同色であること、またショーツの主たる色と裾の色が別色の場合チームでどちらかを選び統一していることとする。
31.背番号・胸番号	シャツの前面及び背面には、選手番号を必ず表示しなければならない。選手番号は、服地と明確に区別し得る色彩(服地が柄柄等であって明確な識別が困難なときには、台地を付ける)かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
32.複数エントリー	複数エントリーの場合、1st2nd各チーム内に大会に参加出来る最高学年が4人以上と、その他の学年は最大6名以内までとする。 メンバー表の提出は4/11(木)までとする。提出方法は複数エントリーチーム用メンバー表をメールにて下記アドレスに送ること。 提出先 t_mori_0415@yahoo.co.jp 森まで4月中にメールにて返信するので、返信メールに添付されているメンバー表を使用すること。 提出期限を過ぎたメンバー表は認められないため、遅れた場合は1stのみのエントリーとなり2ndチームは棄権負け扱いとなる。
33.落雷、荒天等による再試合	落雷、荒天や選手の怪我などの場合運営側は人命最優先とし、それらにより試合続行が困難な場合は試合を不成立とし、再試合とする。その判断は会場責任者が行う。 参加チームは会場責任者の判断に従うこと。試合中に中断した場合は残り時間を再試合として実施する。 再試合時は中断した場所がインプレーであればセンターサークルからドロップボール、アウトオブプレーの場合はその場所から再開する 再試合時の審判、出場選手は中断時と同一が望ましい。中断期間中に別の試合で出場停止処分を受けた場合でも、再試合には出場できる